

## 特集 第10回研究・実践成果発表会

当事業団では、取り組んでいる実践や障がい福祉に関する知見を、形として取りまとめ、対外的に情報発信していくことが重要な役割であると考えています。

そのため、日ごろから研究していることや取組の成果、今後取り組むべき課題などを取りまとめて発表を行う「研究・実践成果発表会」を開催しています。

また、この発表会は、施設での取組や抱える課題などの情報を、職員全員で共有するとともに、共有した情報を足がかりに、事業団のネットワーク、総合力を活かした新たな事業の展開へと結びつけていくことも、大きな目的としています。

### 10回目を迎えました

10回目となる今回は、第1部「事業報告」として、事業団の各施設・事業所で実践している取り組みの報告を行い、第2部「研究・実践成果発表」として、事前に選考された4編の論文発表を平成29年11月15日（水）に福岡市市民福祉プラザにおいて開催しました。各論文の発表の後には活発な質疑応答も行われ、会場は、情報の発信・交換・共有の場となり、とても有意義な発表会となりました。

発表会には、当事業団職員・役員だけでなく、福岡市議会第2委員会、福岡市役所などの行政関係者及び関連企業その他関係団体など、多方面から342名の参加がありました。

### 第1部 事業報告

第1部「事業報告」の目的は、主に「関係機関等に対する福祉情報の発信」と「事業団の事業内容のアピール」を行うことです。今回は、「児童発達支援センター分園の取り組みについて」と、「あいあいセンターにおける『障がい者生活支援相談室』の18年間の取り組みについて」の2件の報告を行いました。



今回も関係者の皆様等、多くの参加がありました。

### 第2部 研究・実践成果発表

第2部「研究・実践成果発表」の目的は、主に「福祉分野に関する各種情報の相互発信による専門性の向上」と「事業団のネットワークを活かした更なる事業の展開に結びつける」ことです。

今回は、当事業団が、充実・強化する事業として明確化している「障がい児支援」、「発達障がい支援」、「高次脳機能障がい支援」、「強度行動障がい支援」、「就労支援」、「地域生活支援」、「社会参加・障がい者スポーツ支援」を中心に、事業団の総合力を活かした連携支援などをテーマとした、17編の論文が各施設から提出されました。

### 選考方法は？

提出された全17編の論文の中から、事前に実施した論文審査により、「優秀賞」として4編を選考し、発表を行いました。

さらに、当日の審査員の方々の審査結果も加味して、「最優秀賞」と「外部審査員特別賞」を各1編選考し、表彰しました。

論文・受賞一覧は9頁をご参照ください。



ふくふくホールステージでの発表の様子